



2年環境科学科SS探究科学Ⅱ選択生 中学3年生へポスターセッション

2月21日(火)の4限、環境科学科2年「SS探究科学Ⅱ」選択生が、向陽中学3年生を対象にポスターセッションを行いました。内容は、「SS探究科学Ⅱ」の授業で、1年間行ってきた課題研究の成果についてです。

参加した中学生たちは、各々興味のあるポスター発表の前で熱心に説明を聞き、研究内容について積極的に質問していました。



2年環境科学科SS探究科学Ⅱ選択生 特別講義「ダニが森を“創る”」

2月21日(火)の5限、「SS探究科学Ⅱ」選択生を対象とした特別講義が行われました。和歌山県立和歌山盲学校の山本佳範先生を講師としてお招きし、「ダニが森を“創る”」という演題でお話していただきました。

ダニは、南極や火山の噴気孔付近など、地球上のどんな環境にも存在しています。山本先生は、大学4年生の時、横浜国立大学名誉教授の青木淳一先生の著書「ダニの話」と出会い、研究を始められたそうです。ダニは、移動力が小さく、年間を通じて採集することができます。ツルグレン装置を用いた土壌動物の採集の仕方について教えていただきました。また、コナダニモドキの生息は土壌中の水分と関係が深く、自然林では種類が多いことや、森林の環境指標としての役割などについても詳しく説明していただきました。ダニについてあまりよいイメージを持っていなかった生徒たちですが、環境保全に果たす役割について興味を抱いた様子でした。



参加生徒の感想より

「ダニといわれると汚いイメージしかなかったけれど、きれいな土にいるダニもいると知って驚きました。」「ダニで、環境指標をつくるというのがすごいと思いました。」「自分のしたいことをとことん追求している先生の話をお聞きし、将来のことを考えるきっかけをいただいたと思います。」「森には、本当にいろいろな生物がいることを知りました。小さいけれど、欠かせない役目を果たしているところがすばらしいと思いました。」「ダニの種類が多いのに驚きました。和歌山は自然が多いので、和歌山県で新種が見つかったらおもしろいだろうなと思いました。」「土壌動物を用いて、森林を評価するということにとっても興味がわきました。」

平成23年度 第2回SSH運営指導委員会 開催される

3月14日(水)、平成23年度第2回運営指導委員会が開かれました。運営指導委員の先生方、和歌山県教育委員会と

本校職員が出席し、会議が進められました。

最初に本校事務局より、今年度のSSH事業について前回指定との相違点を中心に取組の概要報告を行いました。また、成果と課題、高校1年生に行ったアンケートの分析による評価も説明しました。

運営指導委員の先生方からは、研究機関との連携や課題研究、国際性を高める取組等について、各々の立場からの貴重なご意見や、次年度に向けた取組についてご助言いただきました。

